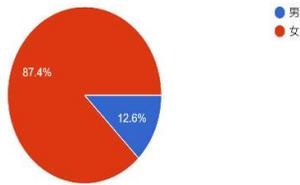
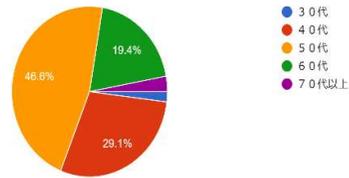


令和5年6月4日 一般社団法人 愛媛県介護支援専門員協会「特別研修」アンケート報告  
 【参加者141名（会場49名・オンライン92名） / 回答者 103名】

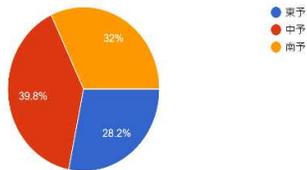
性別  
103件の回答



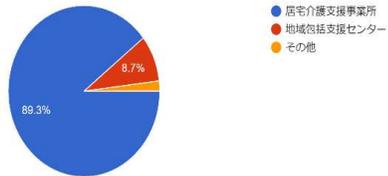
年齢  
103件の回答



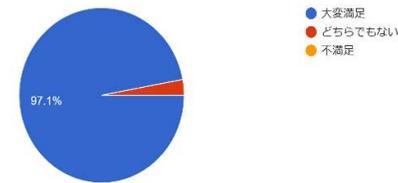
地域  
103件の回答



事業所  
103件の回答

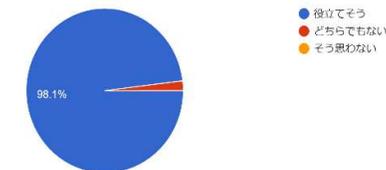


今回の研修の感想をお聞かせください  
103件の回答



大変満足	100名
どちらでもない	3名
不満足	0名

今回の研修を経て、今後の実務に役立てそうですか？  
103件の回答



役立てそう	101名
どちらでもない	2名
そうは思わない	0名

上記内容と答えた理由をお聞かせください。（94件の回答）

- ・ ACPについて、利用者さんに対してあらたまって聞き取るという場面もあると思うが、日頃の会話の中でぼろっとこぼした言葉を情報としてとどめておくことなら、モニタリング等の日々の関りの中でできそうだった。日々の場面で利用者さんの言葉や表情にアンテナを張っていきたい。
- ・ 内部研修等で今回の研修について話し合い、ケアマネのスキルを上げていけるから。
- ・ 今、まさに終末期の方を担当していて、決定することの難しさを感じていました。
- ・ 本人や家族の思いに寄り添う、簡単ではないですけど重要なことです。
- ・ 業務の中で、入院時や退院時の支援でいつも難しいなと感じていましたが、研修を受け流れが理解できました。

- ・日頃からの思いを集めて、意思形成の支援を意識していきたい。
- ・平素の業務とACPとの関連性や、その方の人生に関わる事の意味を再認識できました。
- ・モニタリング時から活用できるため。実践に活かせることができる。
- ・ケアマネジャーの支援として、聞く力をつける必要性、多職種との連携の必要性を改めて感じました。ありがとうございました。
- ・会話にアンテナを張り、よく聴く、言葉の意味を知ろうとする。こだわりや気持ち、人生の物語を一緒に紡いでいく。寄り添っていく。
- ・コロナで自宅への訪問が困難な時がありやっと話が訪問ができるようになり、利用者も聞いて欲しかったことがあったらろうと感じた。今後ACPを頭に置きコミュニケーションをしていきたいと感じました。
- ・日頃おこなっている対話の中で、どうしてその選択をしたのか理由や背景を意識することをプラスしていきたいと思います。
- ・希望や大切な事は対象者自身も認識出来ていない事があるという事を意識して、言葉の意味やその背景をひとつひとつ汲み取れるよう努めていきたいと感じたから。
- ・ACPとは、難しく考えていたようにも思います。今後も日頃の業務で疑問に感じたことを丁寧によく聴いていきたいと思います。
- ・将来の変化に備え医療・ケアチームが、繰り返し話し合い本人による意思決定を支援する。まず、本人の意向を良く聞く。携わっている人達との共有。今後の業務に活かして行きたい。
- ・本人と話を聞いていても、本人自身が分からなかったり、考えられなかったりしている事も多い。本人と家族の思いが違ったり、気持ちが変わったり(揺れ動いたり)その時におかれた状況によって大きく変わる事も多い為、本人と家族の真意を本当の意味で自分が理解できているのかいつも難しいと感じています。
- ・先生の意思決定を行うには自宅が一番との言葉を聞いて明日からの業務の一環でACPが行えると感じました。
- ・意思決定では、本人が自分で意思決定ができなくなる前に、前もって支援すること、この部分が足りなかったと反省しております。まだ先かな、と思わずに大事なことなので、決定の過程をしっかり支援していきたいと痛感しました。
- ・とても分かりやすかったです。今年度、ACPの研修を企画予定なので、たいへん参考になりました。
- ・日々の業務を振り返りながら講演を受けることができた。意思決定ができるような支援、日々のケアが大事。背景や理由を知ること、本人だけでなく家族や周囲の人との関係性への配慮等学ぶことができた。
- ・これまで経験をもとに傾聴・アセスメントを行い、利用者理解に努めてきましたが、それを理論的に明らかにしていただき、さらにポイントまで教えていただき大変参考になりました。
- ・ACPについて、日頃のモニタリングでの会話の重要性を再確認しました。意思決定の支援者を支援するACPはコンパッションケアのところで、「職場で経験したストレス・葛藤は職場でサポートされる事が必要。」現状が一番わかってくれる職場でないと相談も解決もできない。いつでも相談でき、サポートしてくれる環境に感謝して業務を行っていきます。
- ・元気な頃より、本人がどう生きたいかを繰り返し、継続的に行う事で本人が考え、選択できる機会が多くなる。終末期になると準備のないまま進まないといけないし、気持ちが揺れ動いたまま進む不安も大きいと感じた。ケアプランに反映していかれるのではないかと思います。

- ・本人の人生の物語の中にちりばめられている価値観をくみ取っていききたい。
- ・改めて利用者への向き合い方を考えることができた
- ・人生の最期に関わる時、ケアマネジャーがどのような役割を果たせるか学べた。
- ・こういう話し合いに参加する機会は多いのですが、研修内でも言われていたように、いつも医療が優先で中心の印象が強くあって、変わっていく希望に対しても「前はこう言われていましたよね」と問われ「すみません」と申し訳なさそうに家族が答える場面を多く見てきて、とても違和感を感じていました。でもこれからは「状況が変わると気持ちも変わりますよね。でも今の気持ちで考えて良いと思います。ご自分やご家族が決めて良いんですよ。」と胸を張って援護してあげることができるなと思いました。医療側の話に反論してはいけない空気がいつも流れていて「誰の為の話し合い?」って感じでしたから。
- ・片山先生の講義を聴きながら、自分の普段の関りを振り返ってみたが、業務に流されて関りが雑になっていると反省させられた。今回の研修で教えて頂いたことを意識して、丁寧な関りをしていきたい。
- ・ACPの基本的な考えや内容を教えていただいたので、今後は利用者本人との話の中で確認している価値観、死生観などを理解し、その人らしい生き方ができるための意思決定支援を行っていききたい。
- ・会話の中からキャッチし踏み込んでいく事が出来るようになるかは難しいですが「人の気持ち(最善の選択)は変わる」ACPは一度きりではなく繰り返す、継続的な話し合いの過程であり、日々の会話がいかに大切かということや関係者ととも考え共有すること、モニタリングの重要性が改めて実感する事ができたので、今後の業務に活かしていければと思います。

## 今回の研修で気づいたことを教えてください。

(93件回答)

- ・今までACPについてとても難しくハードルが高いものと考えていたが、今回の講演を聞いて、「そんなに複雑に考えなくてもいいんだ。思い起こせば今までできていた部分がある」と気づいた。利用者さんとの何気ない会話の中でちりばめられている情報をどれだけ収集できるかは自分の意識の持ち方だと気づいた。日々のケアの大切さをあらためて気づいた。
- ・最終段階の状態になってからの意思決定は難しいこと。早めに普段からの話し合いが大事。
- ・利用者の思いをもっと理解する姿勢が必要だと気付きました。
- ・サービスありきのプランになっていないか、本人の思いを再確認する必要があると感じました。
- ・職場で経験したストレスや葛藤は職場でサポートされることが必要であるということでしたが、これは本当にそう思います。そしてそれができている職場に、現在自分がいることに心より感謝が湧いてきました。
- ・意思決定の大切さ、意思決定支援の大切さ
- ・何気ない会話が大切であり、利用者視界が深まる
- ・自分が今、地域包括支援センターで活動している中で、対象者と共有する時間のひとつひとつが、ACPにつながる大切な役割を担っていると実感できました。対象者が発出する言語化されない、もしくは多様な意味をもつ言動に、敏感なアンテナを張り続けられるよう、支援者としての自分を整えておく必要性を感じています。先生の熱い思いと理論が伝わる、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・日々の関わりの中でアンテナを立ててACPのピースに気づき理解し意志を尊重できる支援を実践したいと感じた。

- ・コンパッションのことを聞き、自分が疲労感を感じる原因が分かった気がします。
  - ・日本人の性質を改めて考える事で、今抱えている方の支援について参考になりました。
  - ・日々の利用者の思いや家族の思いをキャッチして取りこぼさないにすることが大事だと気付いた。よく話し合いができていない方がいるので、今後は気を付けたい。
  - ・多職種で本人の思いを集めていくこと ケアマネ一人ではないこと
  - ・実際に高齢となった母の事を家族や本人含めて話して見たいが元気な今、他の家族にはあまりピンとこないようです。この仕事をしていると大事な事だと理解できるのですが、やはり差し迫った状況にならないと 考えてられない、考えたくない気持ちも私ながら理解しています。今日のお話は
  - ・日本人は関係性に基づいて意思を表明しやすい。本人中心というよりは、家族単位での意思決定支援が必要だと認識できた。
  - ・情報共有のキーはケアマネであること。
  - ・包括支援センターでは、軽度者とかかわることが多く、本人の意思を表明できる方が多いため、その時点から専門職としてアンテナを張って情報収集・アセスメントをしていき、居宅へつなげることができるようにしていきたいと思った。
  - ・本人から家族へ決定権が変わる時期があり、早い段階から本人の意向を会話の中で話していくことが大切と感じた。
  - ・本人の選択した事柄の裏にある考えや気持ち、どうしてそのような選択をしたのかの理由まで知ろうとしていなかった自分に気付けた
  - ・聴くことの大切さ、背景を知ること、多職種で思いの切片を集めて意思形成のお手伝いをさせていただく。その人の人生の貴重な時間に、そっとチームで一緒にさせていただく。
  - ・小さな選択肢でも本人が決定してもらうことを積み重ねることで、大きな決定をしてもらいやすくなるということが分かりました。
  - ・日頃の利用者様やご家族様との会話の中にいろいろな思いを話されています。聞き流すことなく、どのような思いを持ち生活をしたいか、それに合うケアを行っていただけたいと思います。
  - ・改めて、多職種間での連携がとても大切だと気付きました。
  - ・人によって思いは違っていて、医療やケアも一人ひとり違うということ。
- ケアマネ業務の中で、プランニングやモニタリング等介護保険の枠組みだけにとらわれず、実践に取り入れられることが沢山あることに気づけた。
- ・ケアマネが利用者の人生を作る支援者であると改めて感じました。またケアマネのストレスはケアマネにしかわからないと先生が言われていましたが、全くそのとうりだと思います。ケアマネになって13年ですが、いろいろな問題にぶち当たり、心が折れそうになることが、たくさんありましたが、いろいろなケアマネさんに愚痴を聞いてもらいながらなんとかここまでやってこれました。ありがたく思っています。
  - ・意思決定は、自分で決めるが、自分だけで決めるのではない 一人で抱え込まない、みんなで共有することで見えてくるものがある 大きな決定の時だけ意向を聞くのは違う。自分の日ごろの姿勢を反省させられました。
  - ・本人や家族が何故そう考えるのか一つ一つの事に疑問を持ち、アンテナをはって話を聞いていく様にし、コミュニケーションの仕方を工夫していきたいと思いました。
  - ・聴くことの大切さを改めて感じました。聴くことに始まり、これが対話・支援プロセスに重要だと痛感しました。
  - ・人の言葉は発した後に自分の耳に入ってから理解されるという言語の外在化について気づきが得られました。
  - ・結果を焦らなくて良い事

- ・ ACPはコンパッションケア、疲弊しないための重層的かつ専門的な支援が必要。
  - ・ 日々のアセスメントや思いをチームで共有していく事の大切さを学びました。
  - ・ 会場参加しましたが、やはり直で聞ける方がいいです。
  - ・ 本人だけでなく、家族や支援者も一緒に話し合う大切さ、また、選択は変化していくので、常に話し合う過程の大切さを気づきました。理由と背景を知る、アセスメントは行っていますが、より深いものがあることも考えさせられました。世間話、大切なことも改めて実感しました。何気ない話からいろいろな発見があります。これからも利用者さまとのコミュニケーションを大事にしていきたいです。また、職場でのストレスは職場でサポートしなければならないこと、胸に響きました。
  - ・ リモートだと場所移動がなくて身体的に楽だと思った。
  - ・ 後で利用者様にとっての困り事などが生じた時に改めて気づけるように普段から疑問を持って接することや、何気ない事もしっかりと記録しておくことが必要と感じました。
  - ・ 毎月のモニタリングがACPにあたる。意思形成と選択がいかに大切か改めて気づくことができた。
- ・ ケアプランを作成時の視点
- ・ 久しぶりに会場参加させていただき、他の事業所さんと情報交換ができてよかった。しかし、会場参加される方が非常に少なく、今後はオンライン研修がメインになるのかなと感じた。
  - ・ 今私たちが関わっている時期にしっかり話を聞くこと。また話を聞いても、これまで記録に残しているかといわれると十分ではないと思う。書面にもしっかり記録する事を他のスタッフにも伝えようと思う。
  - ・ ACPは「対話のプロセス」であり「継続していくもの」であること。また、会話の中で表情やきっかけに気づく事の大切さ。日々の忙しい業務の中で、ついその時に必要なやりとりのみで訪問を終えてしまう事が多くなっているな、と反省しました。
  - ・ 対話を繰り返すことは大事。世間話でも関心を持って聞き、気がかりなことを軽くしながら本人の意向に繋げていく。
  - ・ サービスに対する意向を中心にプランに反映しているが生活の中から出てくる本音をしっかりと聞き取ることが出来ていなかったのでは…。どうしてそうしたいのか…理由・背景を理解して関わっていく事で少しでも人として尊重した意思決定が実現できるよう多職種とともに日頃より連携していきながら本人の意向が導き出せるよう努めたいと思った。
  - ・ 言葉で発する事が本心だと限らない。おかれている環境や状況に応じて、時として違う事を言う事があるが、家族や関係者等それまでの構築してきた対人関係を考慮しながら、真の意向を見極める事が重要。
  - ・ 日本は察しあう文化、ただ、察しすぎて先入観で判断してしまったり、察してくみ取っているつもりでも本当の意思とは違うことも多い、との先生の言葉に、これまでの自身の支援でもそのようなことがあったのではないかと振り返る機会をいただきました。また、対話の中からお気持ちや思いを聞かせていただき、その言葉や表情にもアンテナを張って、それらのピースを集めて意思形成を支援していくことが大切だと学びました。最後にお話しいただいた、ACPはコンパッションケアであり、職場で経験したストレスや葛藤は、職場でサポートされることが必要、との言葉も印象的でした。自分自身も含め、部下とサポートし合える関係づくりを改めて見直すきっかけとなりました。貴重なご講演をありがとうございました。
  - ・ ターミナルの方の支援時に、支援期間が1週間程度の方もいます。そういった事例では支援終了後、もっと本人やご家族と話したかったなと思うことが多々あります。世間話の中からの情報収集など、普段の面談に間違いはなかったなと自信がもてました。

- ・意思決定が支援できるようにその人を知る、気づきを持てるような視点を持つ。
- ・マスク装着での講演のためか声が聞き取り難いところがありました。
- ・香川県より愛媛県の方が、連携ツールとかでき上っており、進んでいると思った。
- ・改めてACPをアセスメントするのではなく日常会話にある。キャッチする力をつけることに気がついた。
- ・語ってくれる関係性を作る事、日常の中で散りばめられたピースに気付け、集めていき価値観を知る事が出来る。何かあった時に考えるのではなく、事前に一緒に考える過程を支援する事が大切だと気づきました。ありがとうございました。
- ・どうしてもサービスありきのケアマネ業務で、ボランティアで動いて許される余裕はない。介護保険から医療保険が優先される時期になると、関わりたくても関われない現実があって、レンタルでもしていてくれば、モニタリングを継続できて気持ちだけでも傍にいられるけど・・・。長く一緒に頑張ってきて、最期まで関われるケアマネはうらやましいと思ったのは私だけなんだろうか。改めてなぜケアマネをしているんだろうと感じてしまった。枕元でお別れをしても、途中で手放してしまった無力な意識だけがいつも残ってしまう。
- ・ACPに関しては漠然とした理解しかできていなかったが、非常にわかりやすき話していただき、よく理解できた。意思決定支援を行うには、選択をした理由と背景がわからないと意思決定を支えることができないこと、理由と背景を知るためには、日々のケアの中の会話を大切にすること、世間話の中にある重要な情報をしっかりアンテナを張って踏み込んでいくことが大切。今回の研修で学んだことを意識して、丁寧に日々のケアの中の会話を積み重ねてきたい。
- ・ACPは、医療職中心で行うもの（看取りや延命等どうしたいか）と思っていたが、今回の研修を受けて、ケアマネが普段行っているアセスメントやモニタリング、普段の会話の中から、本人の価値観を知ること、ケアマネが行うACP実践が行えると気づいた。
- ・マイクの音が響いており、よく聞き取れない箇所があった。

今後、どんな研修テーマを希望しますか。

また、興味・関心がある分野について教えてください。（60件の回答）

- ・ターミナル ・ケアマネジメント手法 ・ケアプラン（AIケアプラン含む） ・アセスメント
- ・家族への支援 ・とじこもり解消 ・認知症 ・高齢者の性について ・意思決定支援
- ・困難事例(生活困窮・支援なし・医療ニーズ高い) ・データ連携システム ・BCP
- ・成年後見制度 ・介護保険制度（特異な例） ・8050問題 ・保健・医療分野
- ・ケアマネのストレス解消、モチベーション維持の方法 ・新人指導について
- ・苦手な利用者に対する支援方法 ・虐待について ・アフターコロナの課題 ・事例検討
- ・疾病について（糖尿病・癌・横紋筋融解症・膿胸・パラノイア・精神疾患等）
- ・社会資源活用について ・介護保険改正（介護、障害、医療）について
- ・介護と医療の連携について ・多職種連携
- ・ケアマネのハラスメント対策 ・ケアプランに反映となるL I F E の理解について
- ・障害サービスと介護保険の併用について ・臨床倫理 ・面接技術
- ・ケアマネの役割は多岐にわたります。学びの機会を作って頂きありがとうございます。ケアマネの業務範囲の指針等明確なものがあれば救われることもあります。専門性を高めつつ、幅広い役割に深みへと落ちながら、ケアマネの役割を改めて学ぶ機会があればと思います。

- ・今年初めて入会しました。よろしくお願いいたします。
- ・ZOOMでの研修を継続してほしい
- ・いつも情報発信ありがとうございます。
- ・本日のACPの研修は、大変勉強になりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・修了証が必要な方のZoomアイコンのカメラ画面が出なかったです。
- ・今後もハイブリッド開催をして頂けると受講する側は負担が少なく助かります。本日の総会、研修についてはもう少しボリュームを上げて頂けると良かったと思います。マックスにして視聴していましたが、聞き取れない所がありました。発言者はマスクではなくボードを置く等の方が聞き取りやすかったかも知れません。
- ・過去の会費をまとめて納付する方法をご助言頂けると助かります。
- ・本日の研修、今後に活かせて行きたいです。ありがとうございました。
- ・今日の研修は講師の先生の声がわれ、マスクをしている関係もあるのか声が聞き取りにくかったのが残念です。研修は会場に行って受けようと思いました
- ・介護のデータ連携の啓蒙をお願いします。
- ・研修を引き続き、宜しくお願いします ZOOM研修、助かっています
- ・いつもありがとうございます。お仕事がある中、準備等、大変だと思います。何かお手伝いができることがあれば教えてください。
- ・研修に参加していきたいと思っています。医療について知識が浅いので、お願いできたらと思います。
- ・連絡、相談票を病院へ持参する際に料金が掛かる病院と掛からない病院がある為…、各医師会に問いかけて、統一をして欲しい。

※たくさんのご意見ありがとうございました。

今後の活動の参考にさせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。

調査研究委員会